

たけた 市議会 だより

NO.52

平成31年2月1日発行



雪景色 岡城

写真提供者

北條 誠一 1959年生まれ 竹田市在住

Profile

劇団遊劇おごめん第2代座長 竹田市民劇団おごめん座長
1987年 BAR ROMANHOLIDAY 開店
音響・照明・撮影・編集等をしながら2013年ドローン空撮を始める
故郷の今の姿、各行事を映像に残すべく市内各地に出没中！

- 一般質問 2～8
- 予算特別委員会 8
- 第4回定例会の議決結果 9

一般質問

市政を問う



12月10日・11日・12日、11人の議員が一般質問を行いました。その内容を要約してお知らせします。
なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。

福祉政策・サービス（リハビリテーション）専門団体の活用について



吉竹 悟

問 健康者のみならず、障がいのある人の就労支援のために作業能力向上を目指す必要がある。発達障がいには成人を迎えてからの問題ではなく、幼少期より何らかの原因を積み重ねている方が多い。そこで、児童生徒の健全育成・進学・就業へと結ぶ必要がある。発達障がい等の早期発見、早期支援、就業支援のためには、専門的知識を持った作業療法士等から直接支援を受けられる体制整備が必要と思うが見解を問う。

学校教育課長 校外からの支援として、竹田支援学校の専門の先生に来ていただき、支援の必要な児童生徒に対して、どのような支援が必要であるか助言していただいている。さらに、大分大学医学部を中心に医療との連携も深めている。単なる診察室の診療ではなく、実際に教室に来ていただき授業中の子どもの様子を見

てもらう事もある。また、ケースに応じて、児童相談所、社会福祉課、教育支援センターサフラン、竹田支援学校等の関係機関と連携しながらチームで児童生徒の支援を行っている。一人ひとりの発達の様子を多面的に検討し、指摘のように、作業療法士等に学校現場に来てもらい、教職員の研修を実施する事や、支援が必要な子どもを実際に見ていただきアドバイスを受けることは、とても効果があると思う。

専門職によるさらなる支援体制の構築について、ネットワーク会議において今後も検討を重ねていく。

久住高原
日本一マラソン
練習コースについて

問 練習のみ利用する市外宿泊者と、市内宿泊者との利用方法についての今後のあり方を問う。

生涯学習課長 宿泊人数などの要因で、市外宿泊者が練習のみ利用するケースが多い。現在、協力金をお願いしているが、スポーツツーリズムとしての展開や、管理費用等を含め、今後コースのあり方を検討する。



阿部 雅彦

岡城跡と城下町の観光振興と環境整備について

問 城跡ランキングで全国1位に選ばれた岡城跡、日本航空の機内誌にカラー5ページで紹介された竹楽等岡城跡や城下町が大きく注目を集めている。この時を最大の好機と捉えて、観光振興に力を入れ直してはどうか。

商工観光課長 情報が新しいうちに、全国や海外へのさらなる情報発信をしたり、旅行会社が集まる商談会に参加したりしていきたい。

市長 熊本から大分に向かう観光動線をつなぐのは、竹田しかない。今が大きなチャンスであり、思い切って羽ばたきたい。

問 岡城跡の獣害対策と桜や松等の植栽の管理に力を入れるべきではないか。

文化財課長 イノシシの捕獲手段は、括りわなや箱わなが中心だが、その他の有効な対策を考えたい。また、

植栽等の管理は、市民参画による文化財サポーター制度を導入し、体制の整備を図っていきたい。

森林の環境保全と林業振興について

問 森林認証制度や木材の流通における認証制度を導入して、森林の保護や林業振興につなげてはどうか。

農政課長 持続可能な森林経営を目指していくために、県や林業関係団体と研究を進めていきたい。

問 森林組合、木材協同組合、素材を提供する事業者等との横のつながりを重視した協議会を設置し、竹田市全体の森林の現状を把握したり、今後の林業振興について検討したりしてはどうか。

農政課長 来年度から導入される森林環境譲与税を活用していくための新たな組織づくりを考えている。そこに参加する多くの林業関係者から様々な意見を集約し、取り組んでいきたい。



佐藤 美樹

市立こども診療所について

問 市立こども診療所の指定管理募集の経過と応募がなかった原因を問う。

保険健康課長 平成31年春、診療所の移転新築の計画に際し、民間の効率的な運営手法を取り入れるため指定管理の方針を定めた。8月から公募を始め、11月20日まで応募期限を延長したが応募者はいなかった。募集要項の内容や表現に問題があり、医療関係者に意図が伝わらなかったことが原因とみる。

問 募集要項記載の施設負担金が高額である上、赤字補填はないとある。指定管理の条件が受託側にとって不利ではないか。

保険健康課長 要項中の施設負担金500万円について、指定管理協定書の締結協議では意見調整が可能とし、当予算は将来的な診療所運営資金積立にする計画。指定管理者からは施設等負担金以外をいただく予定

はない。赤字補填は状況判断し、必要であれば対応する。

問 今後も指定管理者の応募がない場合の対応を問う。

保険健康課長 指定管理のあり方を含め再公募するかを検討している。当面、現行の直営方式を続けながら、あるべき姿を定める。

市の小児医療への考えを問う。

市長 5歳児健診や5種ワクチン接種費用の全額助成等、市の医療政策の基盤となるのが市立こども診療所である。小児の保健医療のサービスは、地域の活力の素となる。子どもたちの健康や子育ての環境を地域全体で守っていくことは、定住促進や雇用創出にも繋がる。診療所スタッフとコミュニケーションを深め、今まで以上に小児医療の充実を図っていく。竹田の小児医療を何としても途絶えさせてはならない。

小中学校のエアコン整備について

問 二〇一九年夏に公立学校のエアコンが一斉に整備される。ブラックアウト回避のため、発電動力のリスク分散を図るべきだと考えるがいかがか。また、体育館に設置する予定

はあるか。

教育総務課長 電気やガス発電等、コストや機能を調査し、設置を進めたい。体育館については検討を要する。



佐藤 市蔵

農業収入保険について

問 収入保険導入を、行政としてどのように捉えているのか。又、どのように支援をするのか。加入推進に協力を考えられないか。

農政課長 平成30年度は、収入保険加入の初年度でもあり、大分県農業共済組合の担当者を招いて、市の農業関係職員に対して研修会を行った。さらに、座談会や細目書の受け渡し時に、資料の配布や説明を行った。今後も、法人や担い手等の総会時に説明の場を設ける等の支援をする。収入保険について要望等あれば支援をしていく。

防犯カメラの設置について

問 市有建物等への防犯カメラの設置数は。水の駅「おづる」で連続して車上狙いがあり、御前湯でも以前に同様の事件があった。多くの観光地が市内にあるが、被害を把握しているのか。歴史文化交流センターを建築中だが、防犯カメラの設置計画は。観光客に「安心安全な竹田市のイメージ」をもっていただくため防犯カメラの設置を強く望む。

総務課長 21施設に87基を設置。

商工観光課長 竹田警察署に問い合わせたが、車上狙いは9月から10月に5件、11月に1件。水の駅「おづる」で連続5件と河宇田で1件発生。注意喚起の看板を設置。歴史交流センターは、建物内はもちろん、駐車場にも赤外線センサーや防犯カメラを予定している。

総務課長 水の駅「おづる」は、指定管理施設であり、早急に防犯カメラを設置する。

直入球場にバックスクリーン及び防球ネットを

問 竹田市民球場と直入球場の年間使用日数と利用者数について問う。
生涯学習課長 平成29年度、竹田市

民球場は91日、4967人で大会参加者が主。直入球場は72日、2425人。

問 利用者も多く、費用対効果は高い。厚労省認定のB&G体育館との連携も含めてバックスクリーンと防球ネットの設置を望む。

生涯学習課長 ネットは来年度設置を検討。バックスクリーンは、かなりの費用がかかるので、できる所から対応する。

その他に女性管理職の登用について質問した。



首藤健二郎

クアハウスについて

問 工期が大幅に遅れている。市民への不利益は生じるのか。

直入支所長 施設を利用出来ない不利益はあるものの、遅れている4か月を利用しながらプログラムの構築をしている。

問 10月の臨時会で計上した約300万円は、不利益にあたらないのか。

直入支所長 色々なプログラムを開発することで不利益にならないよう努める。

問 協定書を作成したのはどちらか。
直入支所長 竹田市である。

問 今後、他の事業でも、請求があれば補助金を全額支払うのか。

直入支所長 竹田市補助金交付規則の範囲内で各所管課において交付していく。

問 協定書に割印や契印がない。理由は。

直入支所長 法的には印が無くても有効である。今後差し替えの防止をするために追加で割印をする次第である。

外国人受け入れについて

問 市としての基本的な考えは。

商工観光課長 既に繊維衣服や農業面で外国人を雇用している企業もある。調査においても本来日本人の雇用が望ましいが、応募が無く外国人に頼らざるを得ないとのこと。さらなる実態調査を行い、県とも協議していく。

問 行政が関わることで、より良い人材の確保が可能になると考えるが

いかがか。

商工観光課長 現在は、行政の関わりが制度化されていない。県が市町村の実態に込えされるような窓口を設定して人材を確保するのが理想。

問 介護の分野では特に懸念される。介護福祉士を目指す留学生等を受け入れ、日本語学校や専門学校を設立し、全国に送り出すような仕組み作りはいかがか。

高齢者福祉課長 介護業界における労働力確保は国全体の問題である。

子どもたちの虫歯について

問 児童の現状は。

学校教育課 12歳児の虫歯本数は全国平均が0.8本。竹田市は1.56本と多い。

問 フッ素塗布に取り組んでは。

学校教育課 平成31年度からフッ化物洗口ができるように準備を進めている。保護者の皆さんに理解していただくため説明会を開催し、万全の体制を作っていく。



会計年度任用職員制度の導入について

問 昨年5月に改正された地方公務員法及び地方自治法では、平成32年4月から会計年度任用職員制度を導入するとしている。国のマニュアルどおりならば既に準備作業は進んでいると思う。まず、臨時・非常勤職員の実態把握はできているか。

総務課長 既に行っている。今後も全ての職の詳細な調査も行い、制度開始に向けて、遺漏の無いように取り組む。なお、正規職員347人（一般職290人、消防職57人）、非常勤嘱託職員317人（各施設の管理人、地域おこし協力隊、集落支援員、家庭・児童・母子父子の各相談員、ケースワーカー・レセプト点検員、介護認定調査員、保育士、花水月・御前湯・こども診療所の職員、電話交換手、臨時講師、幼稚園教諭、児童・生徒相談員、外国語指導助手、特別支援教育指導員、図書館司書、学芸員、学校主事、学校医、歯科医、

薬剤師、公民館長・分館長等多岐にわたる。）臨時職員63人である。

問 臨時・非常勤職員全体の任用根拠の明確化・適正化について問う。

総務課長 任用・服務規律等の整備を図るとともに、任用要件の厳格化を行い、スムーズな制度移行を図る。

問 制度導入のスケジュールは。

総務課長 平成31年3月議会に条例案を上程予定だったが、国・県等の諸情勢で遅れる見込みとなっている。

竹田新電力会社について

問 竹田新電力会社の現状は。

市民課長 まちづくり会社が平成29年11月に「みやまSE」と電力小売りの取次店契約をした。平成30年11月に竹田市からの会社設立資金1千万円を基に新会社「中九州スマートエナジー(株)」を設立した。現在11事業所4110KWを供給。

問 九州電力が10月と11月に6回の出力制限をしたがその影響は。

市民課長 出力制限が多くなれば発電事業者には影響が出るが、今回は電力小売り事業者には影響はなかった。

問 今後の見通しは。

市民課長 電力の地産地消で利益を市民に還元するためにも取次店からの自立を目指す。



竹田市地域消防団の実態と消防力の基準について

問 竹田市地域消防団の近年の実態と、団員確保の取組状況や、その成果を問う。

消防長 市の消防団員の条例定数は890名、実員数は昨年で859名、今年30年度は848名で条例定数不足である。

団員確保の取り組みとして機能別団員制度を導入し、発足時より20名増の60名に、また平成26年に女性部が発足し、応急手当、広報活動等現場以外の活動にあたっている。今後、もケーブルテレビ等を活用した魅力ある消防団活動を紹介するなど、地域消防団員確保の活動を進めたい。

問 国の示す市の消防力の基準と団員の定数はどうなっているか。

消防長 国の基準は95名で充足率6割、また現在の消防職員条例定数は60名、大体57〜58名を推移し、30年度で充足率は95%である。

養護老人ホームについて

問 養護老人ホーム久住高原南山荘の10月段階の入所希望待機者はどのくらいか。

高齢者福祉課長 10月末現在で、27年以降総計43名である。

問 43名中、平成27年以前の待機者が6名いる。これに驚くが、ますます高齢者が増える。今後、市の土地を活用した養護老人ホームを設ける考えが無いかわう。

高齢者福祉課長 竹田市では近い将来、65歳以上の高齢者が減少するというデータもあり、設置は予定していない。

岡城南側の再整備について

問 岡城南側の樹木伐採や所有者確認、整備面積調査等の進捗状況を問う。

文化財課長 調査地の65%が史跡の追加指定地に同意済。伐採は昨年に続き、本丸跡から大手門、物見台周

辺まで実施する。



井 英昭

天空の展望公園について

問 総額2億円と聞いているが、どのような事業か。

企画情報課長 スカイパークあざみ台に野外舞台や客席などを整備する。TAO財団と連携し、芸術村として活用。阿蘇くじゅう満喫プロジェクトの久住高原エリアの基幹事業となる。

問 保安林解除に対して産山村側と合意はできたか。

企画情報課長 対象二地域のうち、一地域からは同意をいただいている。現在、大分県を通じて熊本県、産山村役場にも協力いただき検討中。水の問題は竹田市として責任を持って対応するが、国道442号線の拡幅工事の影響部分は県に対応いただくべきと考えている。

井 久住高原の雄大さには阿蘇・熊本側の眺望が寄与している。熊本側

の人々に敬意を払いつつ話を進めていただきたい。

在宅ケアについて

問 竹田市の単身高齢者数は。

高齢者福祉課長 65歳以上は1万34人で単身者は2800人。割合は27・9%となる。

問 単身高齢者の介護認定率は。

高齢者福祉課長 施設に入所している単身高齢者を除くと517人で、割合は18・5%となる。

問 竹田市全体の介護認定率は。

高齢者福祉課長 市全体の介護認定率は18・8%となっている。

問 介護認定を受けた単身高齢者を支えるヘルパー事業所とヘルパー数の推移は。

高齢者福祉課長 現在の訪問介護（ホームヘルプ）事業所は7事業所で、ここ数年で3事業所が閉鎖した。

市内のヘルパー従事者は75名程度となっていて高齢化も進んでいる。

井 これからも高齢化は進み、ますます在宅ケアの重要性も増してくる。

竹田市独自の政策が必要になると考える。撤退などで『竹田市の介護力』が低下しないように、事業所との情

報交換を通じて事業者が求める支援を効率的に市が行えるよう望む。



加藤 正義

市立こども診療所について

問 医師・スタッフ、関係機関に感謝と敬意を持つことが大切であるが、どう信頼を築いてきたのか。

副市長 1万6千人の診察をされ、市民からの大きな信頼を得ている。感謝申しあげたい。現場との意見交換、情報共有、コミュニケーションのあり方等をもっと充実しておかなければならなかったと反省している。

問 小児科医会に、現医師も所属して、竹田市の地域医療を担っている。医師は、この組織との関係が良好で、承諾を得ていなければ、ここで働き難い。この会とどんな話をしていのか。

副市長 連絡をとったが、十分な話

問 医師の学会、研修参加の要望な

どに快く応えてきたのか。

保険健康課長 専門医としての資格維持や経験できない事例を学ぶために必要であり、積極的に参加してもらっている。ただ、予算計上しなければいけない原則があるのと、現場の診療の無理のないようにお願いしている。

問 来春の研修には参加できるのか。
保険健康課長 2、3月は、移転準備のため遠慮してもらっている。

問 現医師に、応募して頂くことが一番だが、そのような対応だったのか。

副市長 現在の医師、スタッフに継続してもらうのが、指定管理の核心部分であり、実現可能な募集要項のつもりであった。

問 6月7日の県の説明会で、現在の医師は医療法人になれないと知らされているが、市が知ったのはいつか。

副市長 指定管理のための医療法人は、認可できないと知らされたのは、5月22日のことであり、早くお知らせすべきであった。

問 空白を作らないためには、よほどの努力が必要だが、その決意は。

市長 小児医療の充実継続は、絶対に実現しなければならない課題、そのための不断の努力をしていく。
その他、マスコミで「健康寿命には、食事・運動に読書が大切」との報道を受け、「健康寿命について」を質問した。



クアハウス併設のレストラン棟・宿泊棟の建設について

問 発注した会社と工期について聞く。

直入支所長 発注した会社は(株)長湯ホットタブである。宿泊棟は(有)ベネツ、レストラン棟は(有)藤和建設がそれぞれ受注、工期は30年10月29日から31年3月20日となっている。

問 1億円を支払った根拠を再度聞く。

直入支所長 協定書にある、事業着手後請求があれば支払うという内容を根拠としている。

問 12月6日に予定されていた2名

の名前が登録簿に記載されていた。2名の名前を加えたことは、これまでのミスを認めたことになるのではないか。

直入支所長 2名からの出資が遅れていただけで、この点が補完されれば補助金について問題はなかった。

子ども診療所について

問 子ども診療所の完成時期と、一般社団法人を中心になって運営するのは誰かを聞く。

保険健康課長 工期は9月18日から来年2月末、法人の主体は高野医師を予定している。

問 当初、指定管理者について医療法人を計画していたが、厳しいということで一般社団法人を設立し運営していくとなった。その時期について伺う。

保険健康課長 指定管理制度を受けるために医療法人を設立することは難しいのが分かったのは5月22日、そのことを高野医師に伝えたのは7月初旬。

問 こうした大事なことを、どうして速やかに高野医師に伝えなかったのか。

保険健康課長 可能性は残っていると考えていた。

副市長 5月22日県から連絡があった。県の説明会等出席していた。医師には失礼なことをしたと思う。

問 医療コンサルタントや銀行の、法人としての経営計画は厳しいという回答をどう捉えるか。

副市長 黒字が出ていることを前提としている。今後の少子化による減収が心配である。

問 今後の対応について聞く。

副市長 募集要項の内容、コミュニケーション不足、医療現場に対する認識不足等に関して、誤解を解いていく必要があると考える。



クアハウスの運営とクアハウス併設宿泊棟・レストラン棟建設及び運営について

問 事業全体の総面積は7,000㎡で事業期間を20年間とし、無償土地貸付けすることになっているが、

議会議決が必要ではないのか。

直入支所長 指定管理のクアハウスを除く宿泊棟・レストラン棟の敷地面積は3,505㎡であり、今後20年間無償貸付をすることから事業着手前に議会の議決が必要である。

問 募集要項には業者選定後に土地の無償貸付に関して「定期借地権契約」を締結するとなっているが、どのように処理されているのか。

直入支所長 「定期借地権契約」は現在顧問弁護士と検討中であるが、賃料を徴収する契約が「定期借地権契約」であるのではないかとの見解が示されている。

問 募集要項で明記されている「定期借地権契約」など使用に関しての契約がなされていないのはなぜか。

直入支所長 事務の遺漏である。

問 土地使用に対する議会承認が無く、使用契約も締結されずに工事が実施されているがどのように考えるのか。

財政課長 行政財産の処分は関係担当課が実施しているため、事務処理に遺漏があったと思われる。今後は財産処理に対する指針を作り実施していく。

問 指定管理予定のクアハウス敷地は実測により各筆の地番、面積が確定されているのか。

直入支所長 実測しているが登記はされていない。

問 指定管理部分が登記簿上で確定されていないが「クアハウス指定管理者指定」を議案としてよいのか。

総務課長 登記されていないが実測図であることから問題はない。(最終日にクアハウス指定管理者の議案は取り下げとなる。)

問 宿泊棟・レストラン棟の規模が縮小されているが、縮小部分の補助金返還はあるのか。

直入支所長 宿泊棟・レストラン棟ともに収容人員の確保ができていて、返還は求めない。

問 指定管理料の支払いはないとしているが、人的な補助はあるのか。

市長 観光でなく市民の健康目的とするものへの人的補助はある。



温泉利用型健康増進施設「クアハウス」

第4回定例会

平成30年度一般会計補正予算

4,950万5千円減額

(総額：220億6,911万7千円)

可決

平成30年第4回定例会・予算特別委員会が12月14日・21日の両日開催され、付託された一般会計予算を慎重審査した結果、全会一致で可決されました。(平成30年度竹田市一般会計補正予算第7号含む)

補正予算の概要

【歳出】

◆総務費

久住コミュニティセンター駐車場用地取得費 134万6千円
地域イントラネットワーク機器等更新業務委託料 854万8千円
ふるさと納税に係る経費・基金積立 5,000万円
久住コミュニティセンター周辺整備事業工事請負費 △3,000万円

◆民生費

自立支援給付費 1,872万5千円
荻福祉健康エリア空調設備設計監理等委託料 170万円
私立保育園老朽化ブロック撤去及びフェンス新設工事補助金 656万1千円

◆衛生費

大分市清掃工場運営管理費等負担金 353万9千円

◆農林水産業費

親元就農支援給付金 120万円
肉用牛大規模経営体事業補助金 2,054万2千円
県営土地改良事業負担金(中山間地域総合整備事業) △2,472万6千円

◆商工観光費

電話機器等更新業務委託料 216万円
ふれあい駐車場整備工事請負費 △710万7千円
城下町サイン整備事業 △4,380万円

◆土木費

中山間総合整備事業道路建設負担金 300万円
道路改良・維持事業(社会資本整備総合交付金事業) △1億1,300万円
防災・安全対策事業(社会資本整備総合交付金事業) △5,360万円

◆教育費

要保護・準要保護児童就学援助費 159万3千円

◆災害復旧費

農地災害復旧費 9,300万円
農業用施設災害復旧費 1億4,400万円

◆公債費

長期債元金償還金 △9,120万円
長期債償還金利息 △3,200万円

【歳入】

分担金 3,925万7千円
県支出金 1億5,935万4千円
諸収入 3万7千円
国庫補助金 △1億1,118万3千円
寄附金 5,000万円
繰入金 △1億1,417万円
市債 △7,280万円

併せて、債務負担行為の補正を行っております。

平成30年 第4回定例会

平成30年12月3日～21日
議案等の議決結果

議
決
結
果

条 例 案		
議案番号	件 名	結 果
議案第 104 号	竹田市議会議員報酬及び費用弁償条例等の一部改正について	可 決
議案第 105 号	久住高原農業高等学校学生寮の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決
議案第 106 号	竹田市火災予防条例の一部改正について	可 決
議案第 107 号	竹田市野外活動施設条例の一部改正について	可 決
議案第 108 号	竹田市竹田創生館条例の一部改正について	可 決
議案第 109 号	竹田市瀧廉太郎記念館条例の一部改正について	可 決
議案第 110 号	竹田市基金条例の一部改正について	可 決
議案第 111 号	竹田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可 決
予 算 案		
議案番号	件 名	結 果
議案第 95 号	平成30年度竹田市一般会計補正予算(第6号)について	可 決
議案第 96 号	平成30年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第 97 号	平成30年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第 98 号	平成30年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第 99 号	平成30年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第 100 号	平成30年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第 101 号	平成30年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第 102 号	平成30年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第 103 号	平成30年度竹田市水道事業会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第 131 号	平成30年度竹田市一般会計補正予算(第7号)について	可 決
議案第 132 号	平成30年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算(第3号)について	可 決
一 般 案		
議案番号	件 名	結 果
議案第 112 号 議案第 118 号	公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議について	可 決
議案第 119 号 議案第 125 号	他の普通地方公共団体の公の施設を竹田市の住民の利用に供させることに関する協議について	可 決
議案第 126 号	竹田市長小野農村公園の指定管理者の指定について	可 決
議案第 127 号	市営住宅の指定管理者の指定について	可 決
議案第 128 号	竹田市温泉交流施設荻の里温泉の指定管理者の指定について	可 決
議案第 129 号	竹田市地域農業活動拠点施設湯の郷ふれあい館及び道の駅ながゆ温泉(駐車場)の指定管理者の指定について	可 決
議案第 130 号	竹田市長湯温泉クアハウスの指定管理者の指定について	撤回承認
決 算 認 定 案		
議案番号	件 名	結 果
認定第 2 号	平成29年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 3 号	平成29年度竹田市立こども診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 4 号	平成29年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 5 号	平成29年度竹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 6 号	平成29年度竹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 7 号	平成29年度竹田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 8 号	平成29年度竹田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 9 号	平成29年度竹田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 10 号	平成29年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 11 号	平成29年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定

賛否一覧表

※賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案番号・件名		議員名(議席番号順)																審議結果	
		首藤健二郎	佐藤市蔵	上島弘二	佐藤美樹	鷲英彰	山村英治	阿部雅彦	渡辺克己	井英昭	徳永信二	佐田啓二	坂梨宏之進	加藤正義	吉竹悟	本田忠	日小田秀之		
認定第 2号	平成29年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	●	○	●	●	○	●	●	○	○	○	○	●	○	●		認定
議案第95号	平成30年度竹田市一般会計補正予算(第6号)について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		可決
議案第104号に対する修正案		●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●			否決
議案第104号	竹田市議会議員報酬及び費用弁償条例等の一部改正について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○		可決
議案第111号	竹田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決

※議長は表決に参加しないため、審議結果は空欄

表の見方……○：賛成、●：反対、－：除斥、欠席もしくは棄権



チャリティショー

舞台監督 井 英昭

今年もチャリティショーの監督だ。さあ困ったと思っていたら、劇団おごめんの安東先生が脚本を書いてくれることに…

なんと昨年と同じ「水戸黄門」だ。劇中劇という凝った内容でスピード感ある展開が面白い。さあ次は配役だ。今年は半分の議員と正副議長が出演。困ったからまた顔から決めてしまおう。やっぱり悪役からすんなり決まった！なかなかセリフの覚えもいざ。去年と違い出足好調！

そして迎えた本番当日…セリフをばっちり覚えたのかアドリブがたくさん入る人、わざとか演技なのかセリフをとばす人、女装が気持ち悪かったり似合っていた人、監督役から格さん役への演技指導のシーンは実は本当の演技指導だったりと、脚本とおりのてんやわんやの展開になった。最後はとても格調高くしめくり、なんとか午前の部を終えることができた。午後の部は気合を入れ直しアドリブは少なめの指示を出したが、劇中に格



さん役への本当の演技指導がまた始まるのであった。まあそれが一番つけたよつだが…皆さん、役を演じ切りさすがだと思った(1人を除いて)。(来年の監督さんへ) 配役に困ったら顔から決めてしまおうとすんなりいきますよ！



あとがき

竹田市が締結している姉妹都市や友好都市が国内に5都市有るのを皆さんはご存知だろうか？ 音楽姉妹都市の仙台市と長野県中野市をはじめ、九州では北竜口マン道路の柳川市と友好都市の延岡市、歴史文化姉妹都市を結んだ大阪府茨木市の5都市である。昨年11月に茨木市の市制施行70周年記念式典に招かれ訪問したが、心温まる歓迎を受けた。民間交流も盛んである。来る2月24日にはグランツたけだの廉太郎ホールで、かの有名な仙台フィルのコンサートがある。またと無い機会、市民の皆さんにぜひ堪能いただきたい。

日小田 秀之